

小多機「総合マネ加算」: 基本報酬へ組込を提案

第228回介護給付費分科会は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護について、2巡目の論点提示と議論が行われました。

1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び夜間対応型訪問介護について

- ①基本報酬の中に「夜間対応型訪問介護の利用者負担に配慮した区分」を設け、両者の一体的実施を図る
- ②総合マネジメント体制強化加算を基本報酬に組み込む
- ③「事業所所在地の都道府県を越えた事業所間連携が可能である」ことを明確化する

2. 小規模多機能型居宅介護

- ①認知症ケアに関する専門的研修修了者の配置や「認知症ケアの指導、研修の実施等を行っている」事業所について新たな評価を行う（あわせて現行の単位数を見直す）
- ②総合マネジメント体制強化加算を基本報酬に組込む。又、「多様な主体が提供する生活支援サービスを含む居宅サービス計画を作成すること」等、地域包括ケアの推進・地域共生社会の実現に資する取り組みを新たに評価

3. 認知症対応型共同生活介護

- ①医療ニーズへの対応強化（医療連携体制加算）②介護人材の有効活用（3ユニット2人夜勤について）

小規模多機能型居宅介護等を通じた地域づくり（広島県福山市：鞆の浦・さくらホームの取組事例）

- 鞆町の人口は、令和5年3月時点で総人口3,430人、高齢化率は48.4%、75歳以上高齢者の割合は30.9%。
- さくらホームでは、徒歩圏内に小規模多機能型居宅介護をはじめ、グループホーム・デイサービス・放課後等デイサービス等の拠点となる各事業所が点在。また、同圏域内では住民が立ち上げたNPO法人が地域互助の拠点（見守り支援、買い物支援・コミュニティカフェ、いきいきサロン）となっている。
- 様々な地域資源と協働しながら住民・職員・利用者とお互いの顔が見える関係づくりを行い、地域住民等の協力を得た上で、利用者に限らず支援が必要な人をまち全体で支える取組を進めている。

○ 事業所内だけでなく、地域にもケアを開くための取組

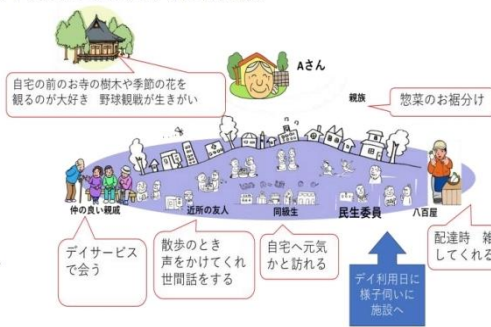
- ・小規模多機能型居宅介護（原の家）の利用者は8割の方が老夫婦世帯または独居であり、他2割の方も日中独居。
- ・このような状況で利用者の自宅での安心した生活を支えるために、ケアを地域に開くことが重要と考え、住民の徒歩圏内に拠点（4カ所）を点在。
- ・このシステムにより地域住民とも顔の見える関係でお互いに日常的な接点や交流があるため、職員が利用者のもつ資源を耕していくことが可能。

○ 小規模多機能型居宅介護の役割

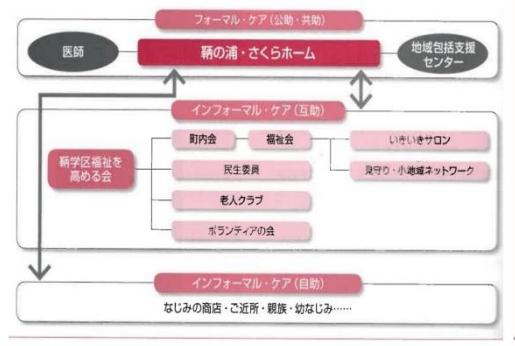
- ・事業所は、地域との交流の中で、利用者が地域へ出かけていくことに理解が得られるよう働きかけるとともに、利用者が地域から抵抗なく受け入れられるように、あらかじめ商店・銀行・警察・近所等に利用者それぞれの特性を踏まえた声かけや対応方法について伝達している。
- ・これにより、**地域住民は利用者を受け入れ、見守りだけでなく支援者としての一端を担っている。**
- ・また、さくらホームの職員は、自分たちでケアの課題を全て抱え込むのではなく社協が運営するサロンに参加し、医療や介護の枠を越え、**課題を地域に戻し住民の理解を促して協力を得ながら解決**に向かっている。
- ・住民の暮らしの中でケアが当たり前の風景となり、**住民との自然な地域共生の意識醸成**に繋がり、利用者だけでなく、誰もが住みやすいまちづくりに寄与している。

○ 地域資源とのネットワークづくり

- ・小中学校と協働し、**利用者だけでなく、地域住民の誰もが集まる**ことのできる「カフェのある公園」を整備。
- ・若者の移住を促進するため、福祉を通じた町の魅力を発信。
- ・小規模多機能型居宅介護事業所が、地域活動を含め**暮らしのネットワークをつなぐことの核**となり、地域の持続のために活動している。



まち全体で見守る



委員からの意見
 質問・総合マネジメント体制加算の区分支給限度額外に置かれていないことはどうなるのか？
 回答・改定対応を踏まえて検討する
 意見・小規模多機能利用者の要介護1,2の部分の報酬引上をお願したい。又、通いサービスの利用時に訪問診療を受けられるように検討してほしい
 (民間介護事業推進委員)
 小規模多機能による地域包括ケアの推進と地域共生社会の実現に資する取り組みを新たに評価すること、福山市の事例のように地域包括ケアの連携の幅を広げることが期待される
 (全国知事会)
 小多機の地域づくりは大変重要であるが、実際は細かい指標などが必要では
 (高齢社会をよくする女性の会)
 グループホームの医療連携体制加算の2,3の算定率が低いという点が見え、医療的ケアの実績が目につく。ケアの実績の目録やケアの要の目録を連携強化を進めたい
 (日本労働組合総連合会)